

## 平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	14. 国際理解促進事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	1. 社会教育総務費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額			
臨時	単独	計画	0	0	0	実施計画	第6章	「ともに生き、支え合うまちづくり」～市民とともに地域の絆をそだてる行政運営～	平成23年度	11,348
							基本施策6	国際化推進のまちにします	平成24年度	1,820
									平成25年度	3,888
									平成26年度	1,820
							施策2	国際理解促進のための事業を支援します	平成27年度	2,000
									平成27年度	1,820

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		2,000

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									2,000

**<事業に関する説明>**

<p>(事業の概要) 佐倉日蘭協会の活動支援 (佐倉オランダ児童交流事業に対する補助)</p>	<p>(事業の目的) ・佐倉日蘭協会を支援することにより、市民による国際交流の推進を目的としています。 ・佐倉オランダ児童交流により、市民や子どもたちが直接オランダの人々と触れ合うことを目的としています。 ・オランダや蘭学に関する各種事業により、佐倉とゆかりのあるオランダについての市民の関心や理解を深めることを目的としています。</p>	<p>(事業の効果) ・市民による交流を推進することにより、行政にはできないきめ細かい対応や、人と人の深いつながりがうまれます。 ・オランダの人々と直接交流する体験により、市民や子どもたちのコミュニケーション力や多様性を受け入れる力が育ちます。 ・オランダや日蘭交流の歴史をひとつの例として理解を深めることにより、佐倉ならではの方法で、国際化を推進する環境をつくります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 佐倉日蘭協会では、協会の運営や実施事業の見直しをおこなっており、現在は改善の途中にあります。 中心事業である児童交流事業を、協会独自で実施することは、財政的に不可能であり、事業の継続には今後も市の補助が必要となります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 平成26年度は、オランダより児童を招聘する年度のため、経費は前年度より増額となりますが、前々年度の実績を参考に、事業課題を検討しています。</p>	<p>(見積についての特記事項) 佐倉日蘭協会助成補助金は、協会事業全体ではなく、児童交流事業のみの費用の1/2で算出しています。児童交流事業の費用は、円とユーロの換算レートの変動、燃料サーチャージの変動等、不確定な要素があります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
19	2,000	1,802	198

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	2,000	0